

学校名	寿台養護学校		
ホームページURL	児童数 3 名		
(1) テーマ 〔和太鼓を発表しよう(1～2学期) 和太鼓について調べよう(2～3学期)〕 テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他( 4年、6年 ) 該当学年 4年、6年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 練習などの過程を通して、人との関わりを深めさせる。 発表の場の共有を通し、成就感や達成感を味わわせる。 技能面の向上を通して、創造的な力を身に付けさせる。 興味・関心に基づいた調査活動を通し「地域文化・伝統文化」の理解と継承への喚起を図る。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・地域文化である「中山太鼓」を題材とし、基本的な練習曲、ソロの発表を取り入れた曲、児童自ら構成を考えた曲へと、各発表の場に向けて、課題を持ちながら活動に取り組んだ。 ・インターネットを利用し、和太鼓に関する調査活動を行った。 時数(53)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・CTを中心として、小学部全職員が指導にあたる。 ・地域講師(中山太鼓のメンバー)を招へいし、指導を受ける。 ・小学部の職員が、実際に「中山太鼓」に参加し、指導を受ける。 ・太鼓はかなりの運動量を要するので、運動制限のある子に配慮する。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・時間数は期に応じて組織する(1学期:5～6月の週3h 2学期:9～12月の週3h)。 ・音楽(和太鼓の表現)、社会(地域文化、伝統文化の調査及び発表)。 ・参観日に、親子で地域講師より太鼓の指導を受ける。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・基本的には児童個々の活動に向かう取り組みの姿勢を評価する。(例:課題を持って太鼓の練習に取り組む姿。互いの評価や感想記入カード・・・などを評価の資料とする。) ・更に教師側の意図する「人との関わり」の面で向上が見られた姿についても評価する。			
(8) 成果と課題 【成果】子ども達は、発表の場に向け、課題を持ちながら意欲的に楽しんで活動に取り組む姿が見られた。また、調査活動を通して、地域文化への興味・関心を抱く子どもの姿も見られ始めた。 【課題】更に子ども達を活躍させる場の設定と教師の出のあり方。 より子ども達の興味・関心に沿ったテーマと活動内容のあり方、さらに課題意識の持たせ方。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や  
学校の特色に応じた課題